

一 番	泉 熊野山地内	きの国 なち山 (那智山 青岸渡寺)
ふだらくやきしうつなみはみくまのの なちのをやまにひびくたきつせ		
ふだらくやきしうつ/なみは/みくまの/ なちのを/やまに/ひびくた/きつせ/ (00:00) 補陀洛 (ふだらく) や岸うつ波は三熊野 (みくまの) の 那智のお山にひびく滝津瀬 (たきつせ)		
二 番	蛇野 てん [門+真] 信寺	きの国 き三井寺 (紀三井山 金剛宝寺 (紀三井寺))
ふるさとをはるばるここにきみみでら 花のみやこもちかくなるらん		
ふるさ とを/はるばる/ここに/きみみでら/ 花のみ/やこも/ちかくな/るらん/ (00:49) ふるさとをはるばるここに紀三井寺 花の都も近くなるらん		
三 番	赤沼 本念寺	きの国 こかは寺 (風猛山 粉河寺)
ちちははのめぐみもふかきこかわでら ほとけのちかひたのもしきかな		
ちちは はの/めぐみも/ふかき/こかわでら/ ほとけの/ちかひ/たのもし/きかな (01:38) 父母の恵みも深き粉河寺 ほとけの誓いたのもしの身や		
四 番	檜山 長泉寺	いづみの まきのを寺 (檜尾山 施福寺 (檜尾寺))
みやまぢやひばらまつばらわけゆけば まきのをてらにこまぞいさめる		
みやまぢやひばら/まつばら/わけゆけば/ まきのを/てらに/こまぞい さめる/ (02:28) 深山路 (みやまじ) や檜原 (ひばら) 松原わけゆけば 巻 (まき) の尾寺 (おてら) に駒ぞいさめる		
五 番	檜山 長泉寺	河ちの ふぢみ寺 (紫雲山 葛井寺)
まいるよりのみをかふるふぢみでら はなのうてなにむらさきのくも		
まいる より/たのみを/かふる/ふぢみでら/ はなのう/てなに/むらさき/のくも/ (03:17) 参るより頼みをかふる葛井寺 (ふじいでら) 花のうてなに紫の雲		
六 番	檜山 満福寺	やまとの つぼ坂寺 (壺阪山 南法華寺 (壺阪寺))
いわをたてみづをたたえてつぼさかの にはのいさごもじようどなるらん		
いわを たて/みづを/たたえて/つぼさかの/ にはのい/さごも/じようどな/るらん/ (04:05) 岩をたて水をたたえて壺阪の 庭のいさごも浄土なるらん		
七 番	牛島 宝袋院	やまとの をか寺 (東光山 岡寺 (龍蓋寺))
けさみればつゆをかでのにはのこけ さながらるりのひかりなりけり		
けさみ ればつゆを/かでの/にはのこけ/ さながら/るりの/ひかりな/りけり/ (04:55) けさ見れば露岡寺の庭の苔 さながら瑠璃 (るり) の光なりけり		
八 番	追廻 弘願院	やまとの はつせ寺 (豊山 長谷寺)
いくたびもまいるところははつせでら 山もちかひもふかきたにかは		
いくた びも/まいる/ところは/はつせでら/ 山もち/かひも/ふかきた/にかは/ (05:44) いくたびも参る心は初瀬寺 山も誓いも深き谷川		
九 番	登町 仰信寺	ならのなん えんどう (興福寺 南円堂)
はるのひはなんえんだうにかがやきて みかさの山にはるるうすぐも		
はるの ひは なんえん/だうに/かがやきて/ みかさの/山に/はるるう/すぐも/ (06:32) 春の日は南円堂にかがやきて 三笠の山に晴るうす雲		
十 番	追廻 玄心寺	山しろうぢのみむる (明星山 三室戸寺)
よもすがらつきをみむるとわけゆけば うぢのかはせにたつはしらなみ		
よもす たら/つきを/みむると/わけゆけば/ うぢのか/はせにたつはし/らなみ/ (07:17) 夜もすがら月を三室戸わけゆけば 宇治の川瀬に立つは白波		

十一番	室町 応供寺	山しろの たいご寺 (深雪山 上醍醐寺)
ぎやくえんももらさですくふぐわんなれば じゆんれいどうはたのもしきかな		
ぎやくえんも/もらさで/すくふ/ぐわんなれば/ じゆんれい/どうは/たのもし/きかな/ (08:03) 逆縁 (ぎやくえん) ももらさで救う願 (がん) なれば 准胝堂はたのもしきかな		
十二番	下寺町 誓願寺	あふみの いわま寺 (岩間山 正法寺 (岩間寺))
みなかみはいづくなるらんいわまでら きしうつなみはまつかぜのをと		
みなか み/はいづく/なるらん/いわまでら/ きしうつ/なみは/まつかぜ/のをと/ (08:49) みなかみはいづくなるらん岩間寺 岸うつ波は松風の音		
十三番	下寺町 地蔵堂 (→ 21:普伝寺)	あふみの 石山 (石光山 石山寺)
のちのよをねがふこころはかるくとも ほとけのちかひおもきいしやま		
のちの/よを/ねがふ/こころは/かるくとも/ ほとけの/ちかひ/おもきい/しやま/ (09:37) 後の世を願うこころはかるくとも ほとけの誓いおもき石山		
十四番	寺町 大悲寺	大津 三井寺 (長等山 園城寺 (三井寺))
いついるやなみまのつきはみみでらの かねのひびきにあくるみづうみ		
いついるや/なみまの/つきは/みみでらの/ かねのひ/びきに/あくるみ/づうみ/ (10:24) いで入るや波間の月を三井寺の 鐘のひびきにあくる湖		
十五番	寺町 妙覚寺	山しろ いまくまの (新那智山 観音寺 (今熊野観音寺))
むかしよりたつともしらぬいまくまの ほとけのちかひあらたなりけり		
むかし より/たつとも/しらぬ/いまくまの/ ほとけの/ちかひ/あらたな/りけり/ (11:13) 昔より立つとも知らぬ今熊野 ほとけの誓いあらたなりけり		
十六番	寺町 歡喜寺 (→ 18:光明寺)	山しろの きよ水寺 (音羽山 清水寺)
まつかぜやおとわのたきはきよみづの むすぶこころはずしかるらん		
まつか ぜ/やおとわの/たきは/きよみづの/ むすぶこ/ころは/ずしかり/らん/ (11:58) 松風や音羽の滝の清水を むすぶ心は涼しかるらん		
十七番	寺町 善長寺	山しろの 六はらだう (補陀洛山 六波羅蜜寺)
おもくともいつつのつみはよもあらじ ろくはらだうへまいるみなれば		
おもくとも/いつつの/つみは/よもあらじ/ ろくはらだうへ/まいるみ/なれば/ (12:46) 重くとも五つの罪はよもあらじ 六波羅堂へ参る身なれば		
十八番	寺町 光明寺	山しろの 六かくどう (紫雲山 頂法寺 (六角堂))
わがおもうこころのうちはむつのかど ただまるかれといのるこころを		
わがお もう/こころの/うちは/むつのかど/ ただまる/かれと/いのるこ/ころを/ (13:32) わが思う心のうちは六の角 ただ円 (まる) かれと祈るなりけり		
十九番	寺町 宝性寺	山しろの かうどう (霊塵山 行願寺 (革堂))
はなをみていまはのぞみのかうどうの にはのちくさもさかりなるらん		
はなをみて/いまは/のぞみ/のかうどうの/ にはのち/くさも/さかりな/るらん/ (14:19) 花を見ていまは望みも革堂の 庭の千種 (ちぐさ) も盛りなるらん		
廿番	寺町 東正院 (→ 21:普伝寺)	山しろよ しみね寺 (西山 善峯寺)
のをもすぎやまぢにむかふあめのそら よしみねよりもはるるゆうだち		
のをも すぎ/やまぢに/むかふ/あめのそら/ よしみね/よりも/はるるゆ/うだち/ (15:07) 野をも過ぎ山路 (やまじ) に向かう雨の空 善峯よりも晴るる夕立		

廿一番	寺町 普伝寺	丹波の あなう寺 (菩提山 穴太寺)
かかるよにうまれあふみのあなうやと おもはでたのめとこゑひとこゑ		
かかる よに/うまれ/あふみの/あなうやと/ おもはで/たのめ/とこゑひ/とこゑ/ (15:56) かかる世に生まれあう身の あな憂(う) やと思わで頼め十声一声(とこゑひとこゑ)		
廿二番	寺町 中央院 (→ 21:普伝寺)	つの国 そうぢ寺 (補陀洛山 総持寺)
おしなべてたかくいやしきそうぢじの ほとけのちかひたのまぬはなし		
おしな べて/たかく/いやしき/そうぢじの/ ほとけの/ちかひ/たのまぬ/はなし/ (16:41) おしなべて老いも若きも総持寺の ほとけの誓い頼まぬはなし		
廿三番	寺町 竜泉寺	つの国 かちを寺 (応頂山 勝尾寺)
おもくともつみにいのりのかちをでら ほとけをたのむみこそやすけれ		
おもく とも/つみに/いのりの/かちをでら/ ほとけを/たのむ/みこそや/すけれ/ (17:28) 重くとも罪には法(のり)の勝尾寺(かちおでら) ほとけを頼む身こそやすけれ		
廿四番	新寺町 釈迦堂光明寺	つの国 中山寺 (紫雲山 中山寺)
のをもすぎさとをもすぎてなかやまの てらへまゐるものちのよのため		
のをも す/ぎ/さとをも/すぎて/なかやまの/ てらへま/ゐるも/のちのよ/のため/ (18:14) 野をもすぎ里をもゆきて中山の 寺へ参るは後(のち)の世のため		
廿五番	新寺町 (普伝寺内) 薬師堂 (→ 21:普伝寺)	はりまの きよみづ寺 (御御嶽山 清水寺)
あわれみやあまねきかどにしなじなの なにをかなみのここにきよみづ		
あわれ みや/あまねえ きかど/にしなじな/ なにをか/なみの/ここにき/よみづ/ (19:01) あはれみや普(あまね)き門(かど)の品々(しなじな)に なにをかなみのここに清水		
廿六番	新寺町 当福寺	はりまの ほつけじ (法華山 一乗寺)
はるははななつはたちばなあきはきく いつもたへなるのりのはなやま		
はるははな/なつは/たちばな/あきはきく/ いつもた/へなる/のりのは/なやま/ (19:51) 春は花夏は橘秋は菊 いつも妙(たえ)なる法(のり)の華山(はなやま)		
廿七番	新寺町 鱗勝院	はりまの しよしやじ (書写山 圓教寺)
はるばるとのぼればしようしやのやまおろしまつのひびきもみのりなるらん		
はるばると/のぼれば/しようしやの/やまおろし/ まつのひ/びきも/みのりな/るらん/ (20:35) はるばるとのぼれば書写の山おろし 松のひびきも御法(みのり)なるらん		
廿八番	北鉄砲町 声躰寺	たんごの国 なりあひ寺 (成相山 成相寺)
なみのをとまつのひびきもなりあひの かぜふきわたるあまのはしだて		
なみの をと/まつの/ひびき/なりあひ/ かぜふき/わたる/あまのは/しだて/ (21:21) 波の音松のひびきも成相(なりあい)の 風ふきわたす天の橋立		
廿九番	北鉄砲町 来迎寺	たんご 松のを寺 (青葉山 松尾寺)
そのかみはいくよへぬらんたよりをば ちとせをここにまつのをのてら		
そのか みは/いくよ/へぬらん/たよりをば/ ちとせを/ここに/まつのを/てら/ (22:07) そのかみは幾世(いくよ)経(へ)ぬらん便りをば 千歳(ちとせ)もここに松の尾の寺		
卅番	八橋 不動院	あふみの ちくぶしま (竹生島 宝蔵寺)
つきもひもなみまにうかぶちくぶしま ふねにたからをつむこころせよ		
つきも ひも/なみまに/うかぶ/ちくぶしま/ ふねにた/からを/つむこ/ころせよ/ (22:51) 月も日も波間に浮かぶ竹生島(ちくぶしま) 船に宝を積むこちして		

卅一番	八橋 不動院	あふみの 長めいじ (姨綺耶山 長命寺)
やちとせややなぎにながきいのちでら はこぶあゆみのかざしなるらん		
やちと せや/やなぎに/ながき/いのちでら/ はこぶあ/ゆみの/かざしな/るらん/ (23:38) 八千年 (やちとせ) や柳に長き命寺 (いのちでら) 運ぶ歩みのかざしなるらん		
卅二番	八橋 き [白+反] 命寺	あふみの くわんおんじ (観音正寺)
あなたうとみちびきたまへくわんおんじ とほきくによりはこぶあゆみは		
あなた うと/みちびき/たまへ/くわんおんじ/ とほきく/により/はこぶあ/ゆみは/ (24:24) あなとうと導きたまえ観音寺 遠き国より運ぶ歩みを		
卅三番	八橋 普門寺	みのの たにくみ (谷汲山 華嚴寺)
(四) いままではおやとたのみしをいずりを ときてをさむるみののたにくみ		
(四) いままでは/おやと/たのみし/をいずりを/ ときてを/さむる/みののた/にくみ/ (25:11) 今までは親と頼みし笈摺 (おいずる) を 脱ぎて納むる美濃の谷汲		
(六) みはここにころろはしなののぜんこうじ みちびきたまへみだのじやうどへ		
(六) みはこ こに/ころろは/しなのの/ぜんこうじ/ みちびき/たまへ/みだのじ/やうどへ/ (28:21, 29:08; 29:58) (六) みは/こ/こ/に/こ/ころ/ろ/は/し/な/の/の/ぜ/ん/こ/う/じ/ み/ち/び/き/た/ま/へ/み/だ/の/じ/や/う/ど/へ/////		
熊野山 くまのぢやものうきたびとおもうなよ しでのやまぢにおもへしらせよ		
- (-) -		
(二) 歌 よろづよのちかひをここにたのみおく みづはこけよりいづるたにくみ		
(二) 歌 よろづよの/ちかひを/ここに/たのみおく/ みづはこ/けより/いづるた/にくみ/ (26:00) 万世 (よろずよ) の願いをここに納めおく 水は苔より出る谷汲		
(五) わかへとてとしをたのむなみだたのめ むじやうの風はときをきはらず		
(五) わかへ/とて/としを/たのむな/みだたのめ/ むじやうの/風は/ときをき/らはらず/ (27:32) (? わかくともす糸をたよりにおもうなよ むじやうのかぜはときをきらわず; かくや山こうぼう大し)		
(三) よをてらすほとけのしるしありければ まだともしびもきへずありけり		
(三) よをてらす/ほとけの/しるし/ありければ/ まだとも/しびも/きへずあ/りけり/ (26:46) 世を照らす仏のしるしありければ まだともしびも消えぬなりけり		